

全体	21
個別	05-01

## 令和2年度〔福祉保険部〕目標の成果

課名等	福祉課
-----	-----

区分	項目	高齢者の生きがいの創出												
1	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターの拡充 高齢者の豊かな経験・知識や技能を生かせる臨時的・短期的な就業の場を提供することで「生きがい」の確保や福祉の増進を図り、高齢者の能力を大いに発揮できる活力ある地域社会づくりを目指して、会員の確保及び業務の拡大を推進します。</li> </ul>												
組織目標	【指標】													
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数及び年間就業延人日数（単位：人日）</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成29年度</td> <td style="width: 30%;">62人</td> <td style="width: 30%;">2,641人日</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>127人</td> <td>3,094人日</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>137人</td> <td>3,409人日</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>162人</td> <td>4,322人日</td> </tr> </table>	平成29年度	62人	2,641人日	平成30年度	127人	3,094人日	令和元年度	137人	3,409人日	令和2年度	162人	4,322人日
平成29年度	62人	2,641人日												
平成30年度	127人	3,094人日												
令和元年度	137人	3,409人日												
令和2年度	162人	4,322人日												
3		<p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">シルバー人材センターの拠点を下地区、中地区及び上地区に設置し、活動範囲を市内全域に拡大するとともに会員数及び年間就業延人日数も前年度から増加しました。</p>												
評価														
4		<p>シルバー人材センターの各拠点を中心として、更なる会員の拡大を図るとともに市の委託業務も積極的に受託し、事業量の拡大につなげていきます。</p> <p>また、将来的には、一般社団法人の設立を経て、公益社団法人への移行を目指します。</p>												
今後の展開														

全体	22
個別	05-02

## 令和2年度〔福祉保険部〕目標の成果

課名等	こども未来課
-----	--------

区分	項目	子育て応援住宅支援事業
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>安心して子どもを産み育てることのできる居住環境の整備を支援するため、多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上）や新たに3世代（親、子、孫）で同居・近居するために住宅の新築及び取得・改修を行う世帯に対し、その経費の一部を助成します。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対馬市子育て応援住宅支援事業補助金採択件数 5件</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対馬市子育て応援住宅支援事業補助金採択件数 1件</li> </ul> <p>申請件数以上の問い合わせ等がありましたが、受付件数は2件で、最終的には採択件数1件となりました。</p>
3	評価	<p>△</p> <p>韓国観光客の減少と新型コロナウイルスの感染拡大により、景気が低迷する中において、住宅の新築、取得及び改修を行うこと自体が厳しい状況下にあります。その様な状況の中で、昨年度「実績なし」から今年度1件の実績に繋がったことは、多少なりとも成果があったものと考えます。</p>
4		
今後の展開		

全体	23
個別	05-03

## 令和2年度〔福祉保険部〕目標の成果

課名等	保 護 課
-----	-------

区分	項目	適正な保護決定に向けた組織的運営の実施
1	【内容】 組織的運営について、適正な保護の決定実施のため現業員、査察指導員、課長が情報を共有し、意識統一を図り、組織全体で問題の解決に取り組みます。	
組織目標	【指標】 組織的運営については、課内で情報共有、意識統一を図るため月に1回、課内会議を行います。また、無作為に選定されたケースについて、隠れた問題がないかを確認するため、課内職員1人につき年に2日ずつ査察指導員が戸別訪問に同行し、問題があればその解決を図り、適正な保護の決定実施に取り組みます。	
2	・組織的運営については、課内で情報共有と意識統一を図るため、月に1回の定例課内会議を実施しました。 課内会議 ⇒ 12回実施	
実績（成果）	・現業員の戸別訪問に査察指導員が同行し、適正な保護の決定実施を図りました。 査察指導員の同行訪問 ⇒ 118回	
3	職員一人一人が目標達成に向けての意識を持ち、組織一丸となって問題の解決に取り組むことができました。	
評価	○	
4	定例の課内会議において意識の統一を図り、問題の解決に取り組みます。また、ケースの増加により、一人一人の業務量も増えていることから、問題を抱え込むことがないように、今まで以上に組織運営・連携を図り、目標の達成に取り組みます。	
今後の展開		